

第12回

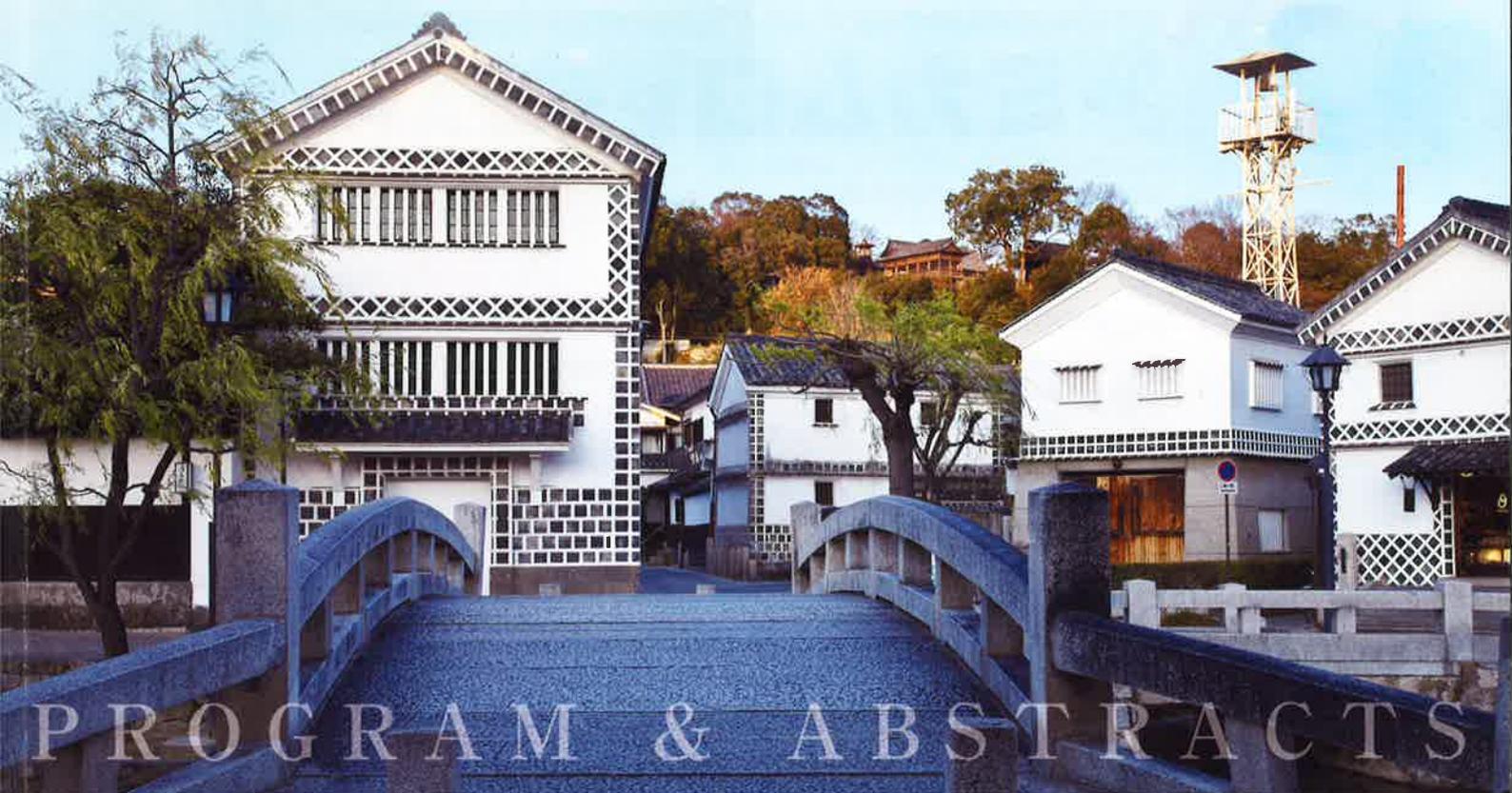
日本先進糖尿病 治療研究会

[温故知新]

開催日：2012年12月1日(土)

会 場：倉敷市芸文館

当番世話人：清水 一紀 [心臓病センター榊原病院 糖尿病内科]



PROGRAM & ABSTRACTS

主催：日本先進糖尿病治療研究会 後援：(社)日本糖尿病学会

開催概要

開催日：2012年12月1日(土)

会場：倉敷市芸文館

〒710-0046
岡山県倉敷市中央1-18-1

H P：http://asindtj.org

主催：日本先進糖尿病治療研究会

後援：社団法人日本糖尿病学会

参加会費

医師・メーカー	5,000円
コメディカル	2,000円
患者・家族	無料

※当日、受付にて承ります。

日本糖尿病療養指導士の認定更新研修単位について

本研究会は「日本糖尿病療養指導士の認定更新のための研修会」として認定されております。本制度により、<第2群>(日本糖尿病療養指導研修単位)2単位の取得が認められます。

お問い合わせ先 — 運営事務局

第12回 日本先進糖尿病治療研究会 運営事務局
株式会社インターグループ内
e-mail : secret-2@intergroup.co.jp
tel : 06-6372-9345 fax : 06-6376-2362

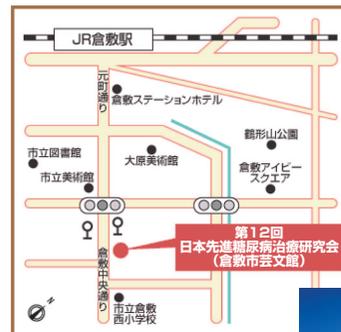
日本先進糖尿病治療研究会世話人

- 当番世話人
清水 一紀 (心臓病センター榊原病院 糖尿病内科)
- 代表世話人
小林 哲郎 (山梨大学 医学部 第3内科)
- 世話人
雨宮 伸 (埼玉医科大学 小児科)
粟田 卓也 (埼玉医科大学 内分泌・糖尿病内科)
石井 均 (天理よろづ相談所病院 内分泌内科)
今村 洋一 (東佐賀病院 糖尿病内科)
大磯 ユタカ (名古屋大学大学院 医学系研究科 糖尿病科・内分泌内科学)
鴨井 久司 (長岡赤十字病院 糖尿病内分泌代謝センター)
川村 智行 (大阪市立大学大学院 発達小児医学教室)
黒田 暁生 (徳島大学 糖尿病臨床・研究開発センター)
佐藤 譲 (岩手医科大学 糖尿病代謝内科)
島田 朗 (東京都済生会中央病院 内科)
津田 晶子 (新潟医療生活協同組合木戸病院 糖尿病内科)
豊田 長康 ((独) 国立大学財務・経営センター 理事長)
西村 理明 (東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科)
松久 宗英 (徳島大学 糖尿病臨床・研究開発センター)
丸山 太郎 (埼玉社会保険病院 内科)
百木 忠久 (横浜市立脳血管医療センター 糖尿病・内分泌内科)
柳澤 克之 (市立札幌病院 糖尿病内分泌内科)
山田 研太郎 (久留米大学医学部 内分泌代謝内科)
- 事務局長
難波 光義 (兵庫医科大学 内科学糖尿病科)
- 顧問
野中 共平 (久留米大学 名誉教授)

日本先進糖尿病治療研究会事務局

事務局長：難波 光義 (兵庫医科大学 内科学糖尿病科)
兵庫医科大学 内科学糖尿病科内
兵庫県西宮市武庫川町 1-1

会場までのアクセス



- JR倉敷駅から
- ・徒歩で約15分
 - ・市役所・吉岡方面行バス (倉敷駅南口バス乗り場 3・4番) で中央2丁目 (倉敷芸文館) 下車すぐ
 - ・タクシーで約5分

※岡山駅から倉敷駅まで約17分 (山陽本線または伯備線)



第12回

2012年12月1日(土)
倉敷市芸文館

日本先進糖尿病治療研究会

温故知新

主催：日本先進糖尿病治療研究会

開催にあたって

謹啓

晩秋の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本年12月1日に第12回日本先進糖尿病治療研究会を岡山県倉敷市で開催させていただくことになりました。中四国においては初めての開催となります。一般演題はインクレチン関連、SMBG、CGM、CSII、ITを利用した地域連携などに関する19題のご応募をいただきました。またこのほか、基調講演、共催セミナー、特別講演、教育講演、ランチョンセミナーなどととも新たに、CSIIの設定方法やCGMのトラブル対処について、わかりやすく解説し、気軽に相談できる会場も設けました。

12というのは干支や時計での一区切りにあたりますので、過去を振り返り新たなステージへ進みたいという思いからテーマを「温故知新」といたしました。それにふさわしく基調講演は当会の生みの親である久留米大学名誉教授の野中公平先生から当会の成り立ちとこれからの展望をお話いただく予定です。共催セミナーはこれからの糖尿病臨床と関連が深まると考えられる睡眠と生活習慣病について岩手医科大学医学部睡眠医療学准教授の櫻井滋先生に、特別講演は日本における膵島移植の現状と未来について、第1人者である岡山大学大学院医歯薬学総合研究科消化器外科学教授の野口洋文先生にそれぞれ最先端のお話を頂きます。教育講演では新しいインスリンの話題を松久宗英先生に、1型糖尿病に対する免疫療法を島田朗先生に、ランチョンセミナーでは徳島大学名誉教授の島健二先生にHbA1cとグリコアルブミンについての温故知新をお聞かせ願えるものと思います。

また、今回専門的な発表だけでなく、CSIIをはじめたいという方々が初歩的なことから学ぶことができるように、別館にてCSIIカフェとして、CSIIやCGMのことを学びながら相談できる会場を用意しました。この会場には、低血糖体験の3Dや神経障害、網膜症を体験コーナーもあります。

会場は倉敷美観地区に隣接したところにあり、芸術と文化を感じることのできる環境です。美しい風景のなかで医師のみならず多くの方々とお会いできることを楽しみにしておりますので、奮ってご参加ください。 謹白

第12回
日本先進糖尿病治療研究会

当番世話人

清水 一紀

心臓病センター榊原病院 糖尿病内科



第12回 日本先進糖尿病治療研究会プログラム

—— 温 故 知 新 ——

開会の辞 9:25 ~ 9:30
清水 一紀 (心臓病センター榊原病院 糖尿病内科)

基調講演「当研究会の成り立ちと今後 (温故知新)」 9:30 ~ 9:45
演者: 野中 公平 (久留米大学 名誉教授)

教育講演「新たな糖尿病治療の展開」 9:45 ~ 10:45
座長: 難波 光義 (兵庫医科大学 内科学糖尿病科)
演者: 松久 宗英 (徳島大学 糖尿病臨床・研究開発センター)
「適切な基礎インスリン補充がもたらす新しい血糖管理の時代に」
島田 朗 (東京都済生会中央病院 内科)
「新たな糖尿病治療の展開 - 1型糖尿病 最近の話題 -」

一般演題(1) GLP-1、CGM 10:45 ~ 11:35

座長: 百木 忠久 (横浜市立脳血管医療センター 糖尿病・内分泌内科)
西村 理明 (東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科)
演者: 1. 岡田 健太 (自治医科大学 内分泌代謝科)
「早期の2型糖尿病治療ステージにおけるリラグチドの血糖および心保護効果」
2. 鴨井 久司 (長岡赤十字病院 糖尿病内分泌代謝センター)
「慢性糖尿性合併症を併発し種々の治療を受けていた2型糖尿病患者の食事負荷試験前後における血中活性型GLP-1濃度変化」
3. 田中 剛史 (国立病院機構 三重中央医療センター 内科)
「2型糖尿病患者における二相性インスリンアナログ製剤ノボラビッド®70ミックス注の有用性についての研究」
4. 中村 友昭 (神戸大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科)
「CGMデータをもとに晝現象の始まりにあわせ少量超速効型インスリン投与を行った1型糖尿病の5例」
5. 志村 浩己 (山梨大学 医学部 第3内科)
「CGMによる超速効型インスリンアナログ製剤の比較検討」

一般演題(2) その他 11:35 ~ 12:15

座長: 鴨井 久司 (長岡赤十字病院 糖尿病内分泌代謝センター)
山田 研太郎 (久留米大学 医学部 内分泌代謝内科)
演者: 1. 小林 知子 (愛媛県立中央病院 検査部)
「SMBG機器とPOCT機器の基礎検討」
2. 川村 智行 (大阪市立大学大学院 発達小児医学教室)
「ペン型注射器用針の使用感に関する3種比較試験-ナノバス33G 5mm、ウルトラファイン32G 4mm、ペンニードルバー 32G 6mmの比較」
3. 望月 美恵 (山梨大学 医学部 小児科)
「グリコアルブミンとA1C同時測定から得られる2指標: GA/A1CとG-gapの意義と今後の応用」
4. 宮尾 康志 (慈風会 白石病院 薬剤部)
「1型糖尿病患者におけるカーボカウントの有用性に関する検討」

ランチョンセミナー「HbA1c、グリコアルブミン(GA)の新展開」 12:15 ~ 13:15

(共催: 旭化成ファーマ株式会社)
座長: 清水 一紀 (心臓病センター榊原病院 糖尿病内科)
演者: 島 健二 (徳島大学 名誉教授)

一般演題(3) 連携 13:15 ~ 13:55

座長: 今村 洋一 (東佐賀病院 糖尿病内科)
雨宮 伸 (埼玉医科大学 小児科)
演者: 1. 深井 康臣 (長野赤十字病院 薬剤部)
「地域糖尿病デバイス・インストラクター制度の立ち上げ (専門・資格性のニーズ: 地域保険薬局の調査結果から)」
2. 松井 浩子 (長野赤十字病院 看護部)
「長野県北信地区における総合的糖尿病診療—糖尿病看護認定看護師としての立場から」

- 銀花 (徳島大学 糖尿病臨床・研究開発センター)
「ITを活用した徳島県糖尿病医療連携システム構築のこころみ」
- 黄江 泰晴 (心臓病センター榊原病院 臨床検査科)
「CGMを利用したHbA1cの推定の検討」

共催セミナー 13:55 ~ 14:55

「睡眠呼吸障害とメタボリックシンドローム-バイオマーカーとしてのアディポカインを追う—」
(共催: サノフィ株式会社)

座長: 柳澤 克之 (市立札幌病院 糖尿病内分泌内科)
演者: 櫻井 滋 (岩手医科大学 医学部 睡眠医療学)

総会、コーヒープレイク 14:55 ~ 15:15

一般演題(4) CSII 15:15 ~ 16:15

座長: 津田 晶子 (木戸病院 糖尿病内科)
粟田 卓也 (埼玉医科大学 内分泌・糖尿病内科)
演者: 1. 伊藤 新 (慶應義塾大学 医学部 腎臓内分泌代謝内科)
「CSII導入2ヶ月後に糖尿病ケトアシドーシスをきたし、その後インスリンラゲルゲン1日1回注射を併用し安定した1型糖尿病の一例」
2. 澤木 秀明 (有澤総合病院 糖尿病センター)
「左下腿、右大腿切断術後で重症喘息に合併した糖尿病に、CSIIが有用であった一例」
3. 楠 宜樹 (兵庫医科大学 内科学糖尿病科)
「日本人1型糖尿病患者の持続皮下インスリン注入における基礎注入プログラムの確立—CGMと絶食試験の応用—」
4. 中山 ひとみ (久留米大学 内分泌代謝内科)
「CSII治療中の3-ヒドロキシ酪酸在宅自己測定の意味」
5. 村田 敬 (国立病院機構 京都医療センター 糖尿病センター)
「国立病院機構におけるCSIIの使用状況と患者特性」
6. 黒田 暁生 (徳島大学 糖尿病臨床・研究開発センター)
「日本人1型糖尿病患者における「500ルール」とは? (第2報)」

特別講演「膵島移植・再生療法の現状と展望」 16:15 ~ 17:15

(共催: 日本イーライリリー株式会社)
座長: 小林 哲郎 (山梨大学 医学部 第3内科)
演者: 野口 洋文 (岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科消化器外科学)

閉会の辞 17:15 ~ 17:20

清水 一紀 (心臓病センター榊原病院 糖尿病内科)
西村 理明 (東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科)

別館アイシアター
CSIIカフェ (日本メドトロニック株式会社)
リリーミュージアム (日本イーライリリー株式会社) 糖尿病クイズ
低血糖体験: Hypo simulator (ノボ ノルディスクファーマ株式会社)
CSII、CGMの疑問、質問、困っていること ボードに書いてみよう。質問にお答えします。

ミニレクチャー

- 11:00~11:30 「ボラスウイザードを使った血糖管理」
講師: 黒田 暁生 (徳島大学 糖尿病臨床・研究開発センター)
- 11:30~12:00 「CSIIの注入プログラム確立法」
講師: 楠 宜樹 (兵庫医科大学 内科学糖尿病科)
- 13:30~14:00 「基礎インスリンの設定方法: 小児」
講師: 川村 智行 (大阪市立大学大学院 発達小児医学教室)
- 14:00~14:30 「基礎インスリンの設定方法: 成人」
講師: 松久 宗英 (徳島大学 糖尿病臨床・研究開発センター)
- 15:30~16:00 「CGM、CSIIのピットフォール」
講師: 清水 一紀 (心臓病センター榊原病院 糖尿病内科)

CGM相談室

※ミニレクチャーの時間は、調整により変更する場合がございます。